



ケアプランデータ
連携システムに対応!

ケアマネさん
必見!

クラウド型ケアマネジャー支援ソフト

ケアマネくん

直感的な画面で
かんたん操作

月額
7,000円～
(税抜)

インターネット
さえあれば
どこでも使える



進化し続ける「ケアマネくん」

介護保険法が施行されてからこれまでの期間、介護支援専門員を取り巻く状況は大きく変化してまいりました。その変化は現場の介護支援専門員にとって良かったかそれとも厳しくなったかは個々の感じ方によると思います。しかしケアマネジメントプロセスの概念は首尾一貫しております。

「ケアマネくん」は時代と共に進化してまいりましたが、その根底にはケアマネジメントプロセスを周知していることをご理解ください。また、「ケアマネくん」は、どのメーカーよりも現場の介護支援専門員の事を最優先にしていることも併せて宣言いたします。

介護支援専門員は帳票作成屋ではない

介護支援専門員にとっての負担の最上位は「帳票類の多さ」です。これは介護保険法が施行されて以来ずっと変わりません。必要とされる帳票は第1表から第7表ですが、スタート時点よりも1つ帳票が減っています。様式そのものは大きな変更はされていないに関わらず、なぜ負担感が軽減されないのでしょうか。

それは、老企29号に提示されているもの以外の書類があるためということがあります。本来、介護保険法の理念である「尊厳の保持」と「自立支援」のためのプラン作成が必要であり帳票作成が目的ではありません。「ケアマネくん」はこの理念を基にして開発されています。そして、できるだけ帳票作成の負担軽減を実現して、本務である「利用者の支援」に力点を置いていただきたいと願っております。

ケアプランの評価が重要になる

課題整理総括表と評価表の登場によりアセスメント方式の統一化が少しずつ進行していますが、今後はケアプランの評価を行うことが重要になるでしょう。介護保険法第二条2項には「要介護状態等の軽減又は悪化の防止に資するよう」給付が行われる事になっております。当然ケアプランに内容についても当てはまることになります。

「ケアマネくん」のアセスメント方式は「TAI」です。これは、利用者の状態を誰にでも分かり易く分類されており、さらに状態の変化の予測も可能にしています。

従いまして評価表を併用することも考えた上で自身のケアプランの評価がビジュアル化されているところが特徴です。

ICT化

介護人材の不足で政府も対応しているところですが、介護支援専門員の人材はそれほど深刻なものではないかもしれません。しかし世の中の情勢を注視するならば、ICT化はますます進んでいくでしょう。今までアナログ的に実施していた日々の業務ですが、最先端の分野ではほぼペーパーレス化となっています。地域包括ケアシステムをより迅速に実施していくために、情報共有や情報交換等についてはICT化しなければならないと考えて対応してください。

「ケアマネくん」は課題分析標準項目23項目、課題整理総括表、評価表との連携ができるようになっており、実地指導やケアプランチェックにも対応できるようになりました。



長谷川 佳和（はせがわ よしかず）

NPO法人 ケアマネージメントサポートセンター 理事長
居宅介護支援 長谷川事務所 代表
一般社団法人 埼玉県介護支援専門員協会

目次

はじめに	1
ケアマネくんの価格	2
ケアマネくんの主な特徴／商品イメージ	3
TAI	4
TAI の概要と特徴	5 - 6
アセスメントや指導・監査に便利な帳票類が満載	7
帳票の管理も便利	8
お手持ちのスマートフォン・タブレットでも使える	9
高橋先生に聞く！（TAI 発案者高橋先生へのインタビュー）	10

ケアマネくんの価格

ケアマネくんの料金は、事業所番号毎の参加費(初回のみ)と、ID毎の利用料です。
ユーザー様ごとに「ID」を発行し、その「ID」単位で課金する料金形態です。

参加費

30,000 円 / 初回のみ (税抜)

月額利用料

7,000 円～ / 月毎、ID 毎 (税抜)

※課金単位は介護保険事業所番号毎です。

< ID とは >

ケアマネくんには 2 種類の ID があります。

●親 ID

1 事業所番号につき 1 つ以上必要です。
ID、パスワードを管理できます。
ケアマネくんの全機能が使えます。

7,000 円 / 月 (税抜)

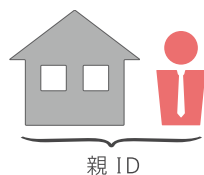
●子 ID

ID、パスワードの管理はできません。
その他、一部機能制限があります。

1,000 円 / 月 (税抜)

導入例①

ケアマネさんが 1 人で利用する場合…

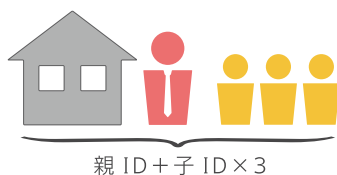


親 ID

参加費
30,000 円
月額利用料
7,000 円

導入例②

ケアマネさんが 4 人で利用する場合…



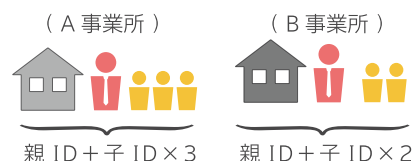
親 ID + 子 ID × 3

参加費
30,000 円
月額利用料
10,000 円

導入例③

複数の事業所を運営する法人様の場合…

法人：X 株式会社



親 ID + 子 ID × 3

親 ID + 子 ID × 2

参加費	参加費
30,000 円	30,000 円
月額利用料	月額利用料
10,000 円	9,000 円

※上記は税抜価格です。

ケアマネくんの主な特長

1 TAI で一定水準以上のアセスメント作成

- ・ イラスト選択項目の中から、ご利用者の心身の状態を選択していくことで、簡単に要介護者の状態に沿った 2 表を作成できます。
- ・ 複数の文例が用意されているため、ケアマネジャーの経験年数によることなく、一定水準以上の 2 表を作成することができます。入力した内容は、23 項目シートにも連動されます。

2 クラウド版だからアップデート作業無しでいつも最新版

- ・ クラウド版のため、インストール型ソフトの様なアップデートの手間がかかりません。
- ・ 法改正対応時もお客様に行っていただくアップデート作業はございません。
- ・ マニュアルおよびよくある質問 / 回答もインターネット上で閲覧できます。

3 クラウド版で利便性・安全性が大幅アップ

- ・ インターネット接続、Google Chrome(ウェブブラウザ) が用意された環境であればいつでもアクセス可能です。
- ・ インストール型ソフトと違いご利用の PC を問わないため、どこでも利用可能です。
- ・ データは官公庁や金融機関でも使用されているもっとも信頼性の高いデータセンターで保存しています。
- ・ セキュリティ面でも安心してご利用いただけます。

ケアマネくんの商品イメージ

「ケアマネくん」は、インストール不要でインターネット環境を通じて製品を利用するソフトウェアです。
「ケアマネくん」のユーザー様なら弊社伝送ソフト「ケアネットメッセンジャー」も無料でご利用いただけます。
(ケアネットメッセンジャーの利用開始には申込みが必要です。)



イラストを用いた高齢者区分法

TAI

プロセス管理を重視した効果的なアセスメントで、
一定水準以上のケアプランを作成。

TAI を用いたケアマネくんなら…

アセスメントにかかる時間を短縮できます！

毎月、ご利用者様全員のアセスメントを行うには、非常に手間と時間がかかる…
質問事項が多くて、ケアマネジャーだけでなくご利用者様への負担感も相当なもの…
ケアプラン作成後の予算感がわかりづらく、予算を出すための計算が大変…
帳票作成後の転記作業が煩雑…ミスが起こりそうで不安…

➡ そんなお悩みはケアマネくんが解決！



1 業務効率が向上します

イラストを用いた7つの基本項目等にお答えいただくだけで、精度の高いアセスメントを効率的に実施できます。

2 一定水準以上のケアプランを作成できます

ケアマネジャーの経験年数によることなく、ベテランケアマネジャー並のケアプランを作成できます。

3 ご利用者の顧客満足度向上に最適です

イラストを用いた説明で、ご利用者様の信頼や満足度がアップします。

TAI の概要と特徴

「TAI」とは Typology of the Aged with Illustrations の略で、国際医療福祉大学 / 大学院教授 高橋泰先生ご考案のアセスメント手法です。

高齢者の心身状況を判定することにより、高齢者を9つのタイプ別に分類することが特長としてあげられます。

TAIでは、わずか5項目の心身状況のレベルを測ることにより、その高齢者に必要と思われる介護内容の目安や、ケアのポイントが示されます。TAIの高齢者タイプは「子供の年齢」に該当するものです。

子供の場合、年齢を聞くだけでその子の身体の高さや、生活の様子を検討がつくように、高齢者の場合も「TAIタイプ」を聞けば、その高齢者に必要と思われる介護内容などがわかるのです。

TAI の特長

1 高齢者の全体像を捉えることで効率的で的確なアセスメントが可能

「活動レベル」「精神レベル」などの設問から、「TAIタイプ」を判定します。TAI法では高齢者の全体像を捉えた後、その高齢者の個々のニーズや課題を分析することで、効率的で的確なアセスメントを実施できます。



2 高齢者の時系列的な変化を把握しやすい

TAI法では、高齢者の心身状況のレベルを数値で表すことから、対象となる高齢者の心身状況の推移をグラフで閲覧できます。

目標に向かって改善しているのかをビジュアル的に残し、高齢者の状態を記録できるので、プランの見直しの目安として大変有効です。



活動レベル3のケースだから、
〇〇と××の問題が発生
しやすく、〇〇の問題が
発生したら△△のように
対処すれば良いのね。



食事レベルが落ちて
きているので、〇〇〇〇を
プランに取り入れましょう。

3 時間のかかるアセスメントや2表を、短時間に高い精度で作成

ケアマネくんには、ご利用者の TAI 評価やアセスメント情報を基にお困りごとを設定。
その課題の対応例を 2,000 以上用意しています。よって、ケアマネジャーの経験年数によることなく、一定水準の
ケアプラン作成が可能となり、簡単に精度の高いケアプランを作成できるのです。

【アセスメントの流れ】

STEP1 医療アセスメント

↑ ご利用者の身体の状態を選択

STEP2 環境アセスメント

↑ ご利用者の生活環境を選択

STEP3 お困りごと

↑ サービスする際の留意点を選択

STEP4 ニーズ分析

↑ ニーズを一覧から選択

居宅サービス計画書(表)									
利用者の氏名	性別	年齢	住所	電話番号	利用者の状態	利用者のニーズ	利用者のニーズ	利用者のニーズ	利用者のニーズ
利用者A	男性	75歳	東京都千代田区	03-XXXX-XXXX	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり
利用者B	女性	80歳	東京都千代田区	03-XXXX-XXXX	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり
利用者C	男性	70歳	東京都千代田区	03-XXXX-XXXX	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり
利用者D	女性	78歳	東京都千代田区	03-XXXX-XXXX	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり
利用者E	男性	72歳	東京都千代田区	03-XXXX-XXXX	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり
利用者F	女性	76歳	東京都千代田区	03-XXXX-XXXX	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり
利用者G	男性	74歳	東京都千代田区	03-XXXX-XXXX	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり
利用者H	女性	79歳	東京都千代田区	03-XXXX-XXXX	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり
利用者I	男性	71歳	東京都千代田区	03-XXXX-XXXX	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり
利用者J	女性	77歳	東京都千代田区	03-XXXX-XXXX	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり	認知症の疑いあり

2表を自動作成！



ここから文例を編集して、利用者様にとって
更に最適なケアプランにすることも可能！

「ケアマネくん」では、「地域連携」に向けた帳票や「指導・監査」「介護サービス情報の公表制度」に必要な帳票類を作成することが可能です。「ケアプラン点検支援マニュアル」にも準拠。
介護サービスも予防サービスも盛りだくさんの帳票類で、煩雑なケアマネジャーの業務を徹底的にサポートします。

課題分析標準項目（23項目）に沿ったアセスメントシート

口腔／衛生床ずれ・皮膚の問題／家事／IADL／寝かせきり／ADL（TAIタイプ）衣服・整容／活動／入浴／精神（認知）／問題行動／特別な状況／社会との関わり／食事摂取／排尿・排便／介護力／居住環境／
課題分析の理由／主訴／生活状況／現在行われている処置／障害老人の日常生活自立度／
認知症性老人の日常生活自立度／現在利用サービス／健康状態・身体状況／コミュニケーション能力

TAI判定と2種類のアセスメント結果をまとめた23項目シート(アセスメントシート)で指導・監査も安心。

氏名	ケアマネ 太郎		年齢	91 歳	性別	(男性)
23項目シート	アセスメント日付2018年 6月 26日 作成者 横田 信長		No. 1234567890			
お名前	ケアマネ 太郎	性別	男	生年月日	昭和02年02月22日	[91 歳] TAIタイプ B4
ご住所	〒100-1000 東京都東京市東京 1-1			連絡先	03-0000-0000	
緊急連絡先	お名前	ケアマネ 一郎	連絡先1		息子	
緊急連絡先	連絡先1		連絡先2		連絡先3	
緊急連絡先	お名前		連絡先1			
緊急連絡先	連絡先1		連絡先2		連絡先3	
受付方法		受付者		受付日	2018年6月25日	
生活状況						
■生活状況（現在の生活情報、生活歴などを記入）						
家は持ち家。一人暮らし。週に2回程度家族が世話をしに来る。配食サービスを利用。						
家族状況			備考（被保険者情報、認定審査会の意見等）			
数年前に配偶者を亡くしている。息子夫婦がいる。子供が保育園に子供を預け共働きで働いており、休みは不定休。仕事が終わりのときに世話をしに行っている。						
障害等認定			身障（ ）、療育（ ）、精神（ ）、難病（ ）、・・・（ ）			
現在利用サービス						
■現在利用しているサービスがありますか ☒ あり ☐ なし						
（在宅利用）						
☐ 訪問介護 ☐ 訪問入浴介護 ☐ 訪問看護 ☐ 訪問リハビリテーション ☐ 居宅療養管理指導 ☒ 通所介護 ☐ 通所リハビリテーション ☒ 福祉用具貸与 ☐ 短期入所生活介護 ☐ 短期入所療養介護 ☐ 認知症対応型共同生活介護 ☐ 特定施設入所者生活介護 ☐ 福祉用具購入 ☒ 住宅改修						
（福祉用具）						
☒ 車いす ☐ 車いす付属品 ☐ 特殊寝台 ☐ 特殊寝台付属品 ☐ 床ずれ防止器具 ☐ 体位変換器 ☐ 手すり ☐ スロープ ☐ 歩行器 ☐ 歩行補助杖 ☐ 認知症性老人徘徊感知機器 ☐ 移動用リフト ☐ 腰掛便座 ☐ 特殊尿器 ☐ 入浴補助器具 ☐ 簡易浴槽 ☐ 移動用リフトのつり具部品						
（インフォーマル）						
☐ 生活支援サービス ☐ 老人クラブ ☐ 通所型サービス ☐ 近隣の支援 ☐ 自治会						
■上記以外のその他利用サービス						
配食サービスを毎日利用。						
現在行われている処置						
■現在受けている処置						
（処置内容）						
☐ 点滴の管理 ☒ 酸素療法 ☐ 疼痛の看護 ☐ 中心静脈栄養 ☐ レスビレーター ☐ 経管栄養 ☐ 透析 ☐ ストーマの処置 ☐ 気管切開の処置						
（特別な対応）						
☐ モニター測定 ☐ 床ずれの処置						
（失禁への対応）						
☐ カテーテル						

23項目シートの作成時間を大幅削減

2表自動作成にとどまらず、その要素となる医療アセスメントや環境アセスメント、お困りごと、ニーズ分析も簡単に入力できるようイラストの多い操作画面を採用しています。

また、入力した内容は、23項目シートに反映されるため、23項目シートの作成にかかる時間も短縮することができます。

居宅サービス計画ガイドライン（全社協アセスメント）にも対応

※ケアマネくんの「利用者」選択からの「アセスメント」はTAI方式「基本情報シート」と「23項目シート」に情報反映しております。

「居宅サービス計画ガイドライン」を作成する場合、利用者情報の「本人氏名」「住所」欄以外の箇所は、アセスメントは反映せず、手入力となります。



帳票の管理も便利

「ケアマネくん」では、実地指導にご利用いただける帳票もご用意しております。
居宅サービス計画書、サービス利用表・別表、居宅介護支援介護給付費明細書といった居宅介護支援のサービスの証明になる帳票を取り揃えておりますので、指導・監査も安心です。

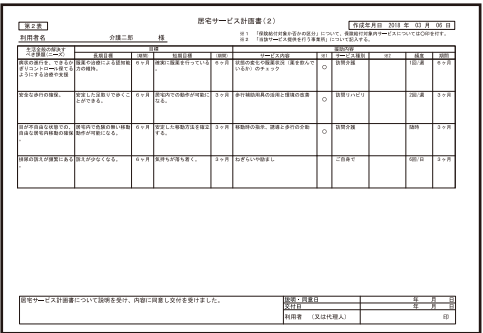
指導・監査に必要な帳票に対応

「ケアマネくん」なら指導・監査に必要な帳票が出力できます。

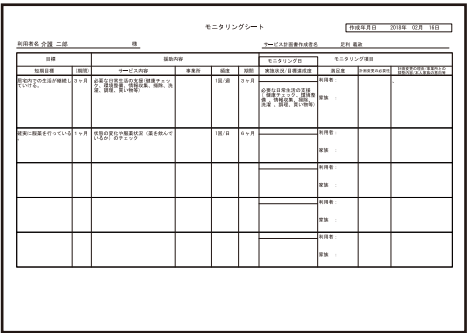
居宅介護支援事業所様が実地指導を受ける場合、さまざまな書類を用意しなくてはなりません。
「ケアマネくん」ではそういった場合にご利用いただける帳票を多数取り揃えております。



23 項目シート



居宅サービス計画書 (2 表)



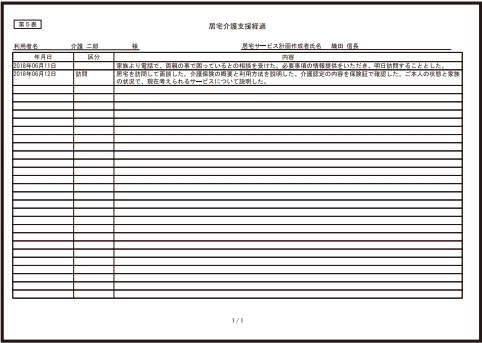
モニタリングシート

等、この他にも指導・監査に必要な帳票に対応しています。

帳票類の電子化

「ケアマネくん」なら帳票の管理・保存・印刷が便利に行えます。

「ケアマネくん」で作った帳票はソフト上に電子データが保存されています。いつでもPDFファイルとしてダウンロード・印刷を行うことができるため、支援経過記録なども都度紙で管理する必要はありません。
サービス提供表別表に関しては、ご利用者ごとに利用した全サービス提供事業所分をそれぞれ出力できます。



支援経過記録



サービス提供票別表

事業所別に出力が可能

お手持ちのスマートフォン・タブレットでも使える

お手持ちのスマートフォン・タブレットから、

- ・撮影した写真のアップロード
- ・支援経過記録の入力
- ・ちょっとしたメモの記録などが簡単に行えます。

パソコンを広げたり、事務所に戻らなくても入力作業ができます。

ケアマネくんモバイル活用

【ノート機能】

スマートフォン、タブレットで入力した情報は、PC版ケアマネくんにも連携します。

スマートフォン、タブレットで撮影した写真も添付できます。



スマートフォン・
タブレットで入力



パソコンでも確認
できる

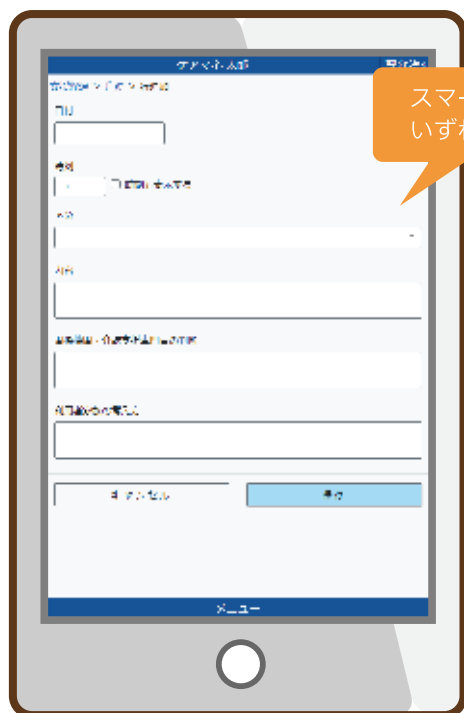
端末本体の音声入力を使えば
さらに便利。

(音声入力機能については端末本体の
マニュアル等をご確認ください。)



【支援経過記録】

スマートフォン、タブレットからパソコンを介さずに、直接「支援経過記録」が作成できます。



「支援経過記録」画面イメージ (タブレット版)

スマートフォン、タブレット、パソコン
いずれでも「支援経過記録」を作成可能



「支援経過記録」画面イメージ (パソコン版)

高橋先生 に 聞く!



T A I 法の開発過程と名称の由来を教えてください。

1993年に11か所の施設でタイムスタディを行いました。「どのような高齢者に、どのようなサービスが、何分提供されているか」という調査です。

調査中は施設の全スタッフ（看護師、ケアスタッフ）にマンツーマンでタイムキーパーを割り振り、ストップウォッチでサービスの所要時間を測定し、サービス内容、提供時間などを記録しました。合計で34万1832分のデータです。

また、同時に高齢者の状態を把握するため、食事、排泄などの調査も行いました。

T A I 法は前者の「サービス内容（所要時間）」と後者の「高齢者の状態」を連結したデータベースを基に開発されたのです。つまり、タイムスタディを基礎に、機能レベル低下とサービス提供料の関係を解析することにより開発された手法です。T A I 法の「T A I」は私の名前である「泰（タイ）」に掛けて命名しました。「Typology of the Aged with Illustrations」の略で、日本語に訳すと「イラストを用いた高齢者区分法」になります。この名称には長い歴史があり、「Test for Aged Impairment」（老化による機能低下の検証）⇒「Total Assessment Index」（総合的なアセスメント指標）⇒「Typology of the Aged Inpatients」（施設入所者における高齢者区分法）と変遷しました。

その後、著書「T A I 高齢者ビジネスケアプラン作成」の出版にあたり、T A I 法に「高齢者の状態を示すイラスト」を設けたことから、名称も「イラストを用いた高齢者区分法（Typology of the Aged with Illustrations）」としました。

T A I 法を開発された歴史的背景や開発時の苦労話などを教えてください。

私の高齢者ケアとの関わりは、1988年に東大の研修医として、初めて療養型病院に行った時にスタートしました。

また、その後も多くの高齢者施設を訪れ、多くの職員から高齢者ケアに関する意見等を聞きましたが、その中で最も多い意見は「忙しくアセスメントを行う暇がない。アセスメントを行うと実際にケアをする時間が無くなる」というものでした。

「実際にサービスを提供する時間」を確保するためには、アセスメントを効率的に行う必要があると感じました。また、福祉の世界にも高齢者の状態に応じたプロトコル（サービス内容やケアの注意点などのケアの基本方針）があるものと思っていたのですが、残念ながら医療のプロトコルに相当するものはなく、ケアの現場で最も必要とされる具体的な対応策が示されていませんでした。私は、具体的な事例、できれば系統的に整理された対応方法の提示が必要と考えました。

これらの課題を解決する方法として、T A I をベースとしたアセスメント手法を開発したのです。

T A I 法を利用することでケアマネジャーやご利用者さまにどのようなメリットが生じるのでしょうか？

高齢者の状況に応じた、ケアのポイントや注意点などが示されるので、ケアプランの作成が速くなります。これは、「富士5合目プラン、6合目プラン」と呼んでいますが、T A I から導き出される「たたき台」をベースに、ご利用者さまの個々の課題やニーズを取り入れ、ケアプランを作り上げることになるので、白紙の状態から作成するよりもずっと効率的です。

また、経験が少ないケアマネジャーであっても、T A I で示されるケアのポイントなどを参考にケアプランを作成すれば、一定水準以上のケアプランを作成できます。ケアマネジャーの経験度合いなどにかかわらずケアプランの質を保てるという点で、ご利用者さまにも安心してサービスをご利用いただけるのではないのでしょうか？

また、心身状態の変化を時系列で把握できるので、プランの見直しやその方針の作成なども的確に実施できるのではないかと考えています。

「ケアマネくん」を使いこなすポイントを教えてください。

T A I を理解することです。全く知らない人にとっては、T A I は魔法の箱なのです。T A I を理解してくると、「ケアマネくん」で何が出てくるかをほぼ100%予測できます。

このボタンを押すとこの文章に結びつくから、こういう答えが出てくる。これを理解することが使いこなしのポイントです。

高橋先生にとって理想的なケアマネジメントとは？

エビデンス（根拠）のあるケアです。医療の場合は、世界共通の基準があり、比較できるしくみがありますが、残念ながら介護の世界では相当するものがありません。

例えば、「どの状態でおむつを離脱するのが最適か？」「嚥下障害者にどのような手法で食べさせるのが一番理にかなっているのか？」など、基準や比較できるしくみがあればよいと考えています。



国際医療福祉大学
大学院教授
高橋 泰
(たかはし たい)

1986年3月 金沢大学医学部卒業
1992年3月 東京大学医学系大学院医学博士課程修了(医学博士)
1992年 スタンフォード大学留学
1994年 ハーバード大学公衆衛生校に武見フェローとして留学
1997年4月 国際医療福祉大学医療福祉学部医療経営管理学科教授
2005年4月 国際医療福祉大学医療福祉学部医療経営管理学科科長
2009年4月～ 国際医療福祉大学 大学院教授

○専門領域 ケースミックス(D P C、R U G s等)、高齢者ケア、医療情報
○現在の研究テーマ 高齢者の老化のプロセスの定量的解析・慢性期医療のケースミックス手法の開発
○著書 「T A I 高齢者ビジュアルケアプラン」日経 B P 出版局1997年(共著)
「T A I 高齢者ビジュアルケアプラン在宅版」日経 B P 出版局1999年(共著)
「T A I 予防プラン作成実践テキスト」環境新聞社2006年
「疾患別ケアマネジメント基礎講座 Vol.1(脳血管障害/糖尿病/がん末期)」日本介護支援専門員協会2010年(共著)

ご契約・お手続きについてのお問い合わせ

日本ケアコミュニケーションズ 営業課

 **03-3662-3490**

受付時間：平日 10:00-16:30
(祝日・年末・年始を除く)

FAX と Eメール で 24 時間受付けております (翌営業日対応)

F A X 03-3662-3491

Eメール infoneo@care-com.co.jp

パソコン側に必要なスペック (動作環境)

ケアマネくん をご利用される場合は、以下の環境が必要です。

- OS : Windows10、Windows11
- ブラウザ : GoogleChrome (Internet Explorer、Edge は使用できません)
- Adobe Acrobat : Adobe Acrobat Reader DC、Adobe Acrobat Reader 2020
- メモリ : 4GB 以上
- 画面解像度 : 1366×768 ピクセル以上
- インターネット回線 : 常時接続回線 1M 以上 (ADSL、ひかり)
- プリンタ : A3 プリンタ、A4 プリンタ (*1)

*1 厚生労働省の標準様式の介護予防プランのみ A3 サイズ (分割して A4 サイズ 3 枚での印刷も可) となっております。他はすべて A4 サイズです。

ケアネットメッセージ (伝送ソフト) をご利用される場合は、以下の環境が必要です。

- OS : Windows10、Windows11
- ブラウザ : GoogleChrome、Microsoft Edge
- Adobe Acrobat : Adobe Acrobat Reader DC、Adobe Acrobat Reader 2020
- インターネット回線 : 常時接続回線 1M 以上 (ADSL、ひかり)

 **株式会社 日本ケアコミュニケーションズ**

〒103-0011

東京都中央区日本橋大伝馬町14-17 大伝馬町千歳ビル3F

<https://www.care-com.co.jp/>

facebook /ASPkaigo

twitter @care_com_corp

